

新発田市租税教育推進協議会長賞

2020 東京五輪と新しい世代

新発田市立 豊浦中学校 三年 伊藤 嶺 さん

今年の夏、新型コロナウイルスの影響で一年延期されていた東京オリンピックがとうとう開催された。中止の声も多かったが、選手一人一人の迫力がテレビやスマートフォンの画面越しからでも伝わり、大いに盛り上がったと思いました。

しかし、大きなトラブルもなく終わったとは言えませんでした。それは税金についてです。延期により、選手村の維持費や各種スポーツ団体の再準備による必要経費など様々なものがありました。さらに無観客ということになり、チケットで手に入るはずだったお金がなくなり、少し脱線するがオリンピックで来日した外国人をターゲットにした飲食店やホテルが無観客になり来日せず大打撃を受けているとニュースで見たことがあった。これらのような点から、経済不況からの脱出がもう一つのねらいだったはずが逆にさらに深刻になってしまいました。

それではその損失をどう取り返すのかも税金である。兆にまで上る金額をどう税金で返すとなると税の値上がりにつながると思いました。少し前の新聞で父が消費税10パーセントの値上がりについて「またか…」とつぶやいていたのが記憶に残っていました。そして今たばこに対する世間の対応も厳しくなっていて、たばこ税というものでかなりの額がかかるとネットニュースでちらほら見ました。そういった必ず払わなくてはいけないものから必ずしも払わなくていいものまで存在するのが税金である。

だが、「約100兆円ある国の収入なら返せるのでは？」と思われそうですが国の収入には外国からの借金もふくまれており、施設の営業や消防や警察の活動にも使われるため回せるお金は少ししかないので増税という形になると思いました。

そうなった場合負担するのは今の働いている人達の世代と我々若い世代、さらに若い世代ということになってしまう。さらに今は少子高齢化で年金の額が上昇中で子供の数も少なくなりつつ、将来はかなりの増税が繰り返されると思う。オリンピックを中止にせず、利益も見込めないなか選手の気持ちを踏み躪らずに開催することが出来たのは素晴らしいことだと思いました。

しかし、現在は新型コロナウイルスによる失業が多くそんな中で税金を払うのはとても苦しいことである。私が思うのは、使い方を工夫すればもっと借金にあてられるのではないかと思う。例えば、1万円札があり節約をすることによって楽しい生活ができるとテレビで見たことがある。税金の方でも同じで無駄を省くことによって国民一人一人が払ったたくさんの税金が価値を十分に引き伸ばしてくれると思う。

私達が今できることは、明日生まれてくる新しい世代になるべく負担の少ない社会にすることだと私は思う。